

収蔵資料展 守り伝える海舟の“歴史遺産”

前期：令和4年9月2日(金)～10月30日(日)

後期： 11月3日(木・祝)～12月25日(日)

令和4年9月7日、勝海舟記念館は開館3周年を迎えます。この間、当館は多くの方々のご寄附に支えられ、勝海舟に関する幕末～明治期の貴重な資料を収集・保護し、展示等を通じて公開してまいりました。

本展では、収集資料の数々から、個々の資料が秘める可能性の豊かさを、そして、修復資料や、展示のために製作した資料の複製から、資料保護に関する館の理念と取り組みの様子をご覧ください。前・後期合わせた展示資料全20点のうち、半数以上が初御披露目となります。

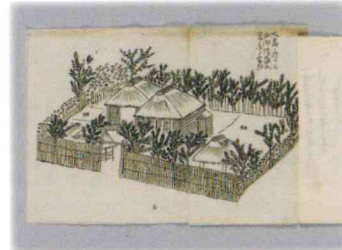
今後も記念館は、海舟の“歴史遺産”を守り、将来へと伝えるミッションに取り組んでまいります。どうぞご期待ください。

初公開となる収集資料の中でも、必見!

1 西郷隆盛と海舟とのつながり



西郷隆盛肖像画複写



西郷隆盛奄美大島幽居の絵図

多彩な収集資料の中でも、海舟の重要な旧知である西郷隆盛の関係資料には要注目。

今や原画が失われた有名な西郷隆盛肖像画(キヨッソーネ筆)の複写を前期展示で、1859～1862年にかけて西郷が隠棲した奄美大島の幽居の絵図が含まれている資料を後期展示で、それぞれ初公開します。

修復によって今甦る

2 幕臣・海舟の装い

前期展示では、海舟が任務の際に着用した可能性がある陣笠を、後期展示では、海舟が登城の際に着用した袴(肩衣/長袴)を、それぞれ修復過程と共に特別公開します。

他に、古文書の修復事例もご紹介!



肩衣

陣笠

3 たかが複製?されど複製

複製(レプリカ)も、公開と保護の調和をとりながら資料の本質を伝える上で重要な資料。その制作を通じ、資料に注がれた過去の技術力の高さ等に触れ、資料への理解を深めることができます。

海舟所用の蔵書印や、海舟がペリー来航後に幕府に提出した「海防意見書」の自筆草稿の複製制作事例をご紹介します。



蔵書印

海舟だより 第15号

開館3周年
記念特別展

収蔵資料展

守り伝える海舟の“歴史遺産”

【前期】9月2日(金)～10月30日(日)

【後期】11月3日(木・祝)～12月25日(日)

展示替え休館 10月31日(月)～11月2日(水)



大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

- 開館時間 午前10時～午後6時
※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く
8/29～9/1, 10/31～11/2は展示替えのため休館
- 入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)
- 所在地 東京都大田区南千束2-3-1
- 電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



Information

迫る! 海舟生誕200年イヤー 特別展プロジェクト、鋭意進行中!

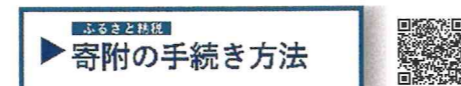
2023年新春を皮切りに、2024年3月まで全4回にわたり開催する海舟生誕200年記念特別展では、ご要望が多かった「家族から見た勝海舟」という新たな切り口で、その生涯を紐解きます。現在、皆さまからいただいたご寄附を活用し、特別展で初御披露目する資料の修復等を進めています。その中には、海舟と懇意だった明治の洋画家・川村清雄の手による海舟の家族たちの油絵も…。乞う、ご期待!



川村清雄
(木村駿吉「川村清雄 作品と其人物」1926年、国立国会図書館蔵 より)

記念館では、皆様からのご寄附で、海舟ゆかりの資料の収集・修復に取り組んでいます。引き続き、「勝海舟基金」へお力添えのほどよろしくお願い致します。

詳しくはHP(下記QRコード)をチェックしてください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



発行:大田区立勝海舟記念館
令和4年8月発行